



図書館報『パピルス』のプチ版ということでプチパピです

磐城桜が丘高等学校図書館・図書委員会発行



朝の読書が始まります！



1・2年生は、7月6日（月）から「朝の読書」週間がスタートします。
今年度の朝読週間は、5回の予定です。詳細は「朝の読書をはじめよう！～桜が丘高校「朝読」の手引き～」をご覧ください。

普段、なかなか読書の時間を取れない人もいます。朝の15分間、充実した読書タイムを過ごしましょう！図書館の本もぜひ利用してください♪

図書委員オススメの本 今月のテーマ:「詩集」

『食器と食パンとペン わたしの好きな短歌』 安福望／キノブックス

右ページに短歌、左ページにイラストが書かれている詩集です。短歌を読んで想像して絵を見ると、自分とは違う解釈などを知ることができて、二重にワクワクできる本です。

疲れた時に読んでみると癒やされます。

(3年・男子)



『中原中也詩集』 中原中也／新潮文庫

誰もが知っている“汚れっちまった悲しみに”や可愛い擬音の使われる“サーカス”などリズムの良い中原中也の詩が多く収録されています。作りがとてもシンプルでさし絵もなく、中也の言葉の世界観にしっかりと浸ることができます。

(3年・女子)

『すてきなひとりぼっち』 谷川俊太郎／童話屋

88歳を迎えた今でも、執筆をし続ける谷川俊太郎。この本は、彼が近年の詩を含めた千数百編の自作の詩から約50編を選び抜いて出来た一冊です。

思わず笑ってしまいそうになる詩からしみりする詩まで、幅広い彼の詩の世界に浸ってみてください。

(3年・男子)



『日本語を味わう名詩入門1 宮沢賢治』 萩原昌好 編／あすなろ書房

「銀河鉄道の夜」「雨二モマケズ」「春と修羅」。他にも多くの名作を後世に残した宮沢賢治。故郷である岩手県の農学校の先生でもあった賢治の詩は、そんな彼の生活や故郷の風景をうたったものばかりです。

少年たちによる五穀豊穡を願う剣舞、賢治から見た故郷の山々、そして病床で聞こえる風の音。宮沢賢治の生涯が感じられる詩集です。

(1年・女子)

「ビブリオバトル」を知っていますか？

「ビブリオバトル」とは、お気に入りの本を持ち寄って魅力を5分間で紹介し合い、観戦者の投票によって一番読みたい本（チャンプ本）を決める書評ゲームです。

「第6回ビブリオバトル福島県大会地区予選」が10月3日（土）にいわき産業創造館（LATOV6階）にて開催されます。上位者は県大会に推薦されます。大会についての詳細や出場希望は図書館まで問い合わせてください。

ビブリオバトルの詳細は、普及委員会による公式ウェブサイト (<http://www.bibliobattle.jp/>) をご覧ください。

裏面は新着図書案内だよ♪

